



「食」を通じ笑顔届けたい

「食」「料理」でのまちづくりプロデュースをテーマに、これから鏡石町の地域おこし協力隊として活動していきます。

農家さんや町民の皆さんの「想い」をつなぐ架け橋となり、食を通じて笑顔になってもらえる素晴らしさを広めていけるよう、2人で頑張っていきたいです。また、町の特産物、自然、人など内側からは気づきにくい隠れた町の魅力を全国に発信し、皆さんの「想い」を伝えていければと思います。

地元へ恩返しする気持ちで

「地方創生系の仕事に携わりたい」という想いを、大学時代からずっと持っていたので、それを地元で実現できることはとてもうれしいです。一度離れたからこそ分かる地元の魅力をたくさん発信していければと思います。

今まで私を応援してくれた家族をはじめ、地元の人たちに恩返しができるよう、自分たちができることに全力で取り組んでいきたいです！



2人の活動記録はこちらをチェック！



Instagram



KACAMIISHI.OKOSHI

Facebook



「地域おこし協力隊」

とは？

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化が進む地方が都会から若者を呼び、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を通して、その地域への定住・定着を図る取り組みです。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期は概ね1年以上、3年未満です。

福島県内では令和3年12月1日現在、県と45市町村で190人が地域おこし協力隊として活動しています。

地域おこし協力隊

着任

しました！



小柳 拓未 さん

小柳 比呂 さん

こやなぎ たくみ
小柳 拓未 さん (23)

佐賀県唐津市出身。15歳から20歳までの5年間、佐賀県にあるビストロフレンチレストランにて、キッチン、パン作り、パティシエなど多岐に渡り経験を積んだ。

20歳を機に上京し、浅草にあるイタリアンバルにてキッチン、ホール、ワインソムリエ業務に従事。22歳にして最年少副店長となり、スタッフのマネジメント業務、InstagramやGoogleでのネット集客を担当した。

こやなぎ ひろ
小柳 比呂 さん (24)

須賀川市出身。祖母の家が鏡石町にあり、馴染みが深い。安積高校を卒業後、早稲田大学政治経済学部経済学科に入学。大学時代は4年間「知るカフェ」という学生運営の就活支援団体に所属し、経理や広報業務を担当した。

学生時代にはアパレル販売や飲食店など5種類以上のアルバイトを経験。サークル活動では、フリースタイルバスケットやYouTubeチャンネルの運用などを行った。

「地域おこし協力隊」に関するお問い合わせ先
総務課まちづくり調整グループ ☎ 62-2117